



あゆみ

No. 153

令和 2年 3月31日

編集 発行： 荅山寮・第二荅山寮

天草市本町下河内 680

TEL 0969-22-5339・0969-22-1766

FAX 0969-22-5090



花見会はいにくの雨
でもみんなの心には
ほっこり花が咲きました

「良き耳を持つ」一年に

施設長 鮎田 一夫

うらかな日差しに施設周りの野や畑には春の野草が花盛りです。本来ならば人の移動が一番多いこの時期ですが、今年は世の中すべてがひっそりと息を潜めた春です。

そんな中で始まった令和二年度ですが、私達の今年度の重点目標を「良き耳を持つ」にしました。いくつかの候補の中から皆で話し合って決めた言葉です。「良き耳を持つ」とは文字通り相手の話をよく聞くということです。さらにその意味を広げて考えると、相手の気持ちを汲み取る、相手の気持ちや立場になつて考えるということだと思います。人は他者との関わりなくして生きていくことはできません。その意味ではこの言葉は生きていく全ての人に必要な言葉です。家庭の中での小さな行き違い、職場でのいざこざから国と国との紛争まで、もしその当事者が良き耳を持っていればその争いの何割かは起こらないかもしれないし、起こっても直ぐに解決するかもしれません。

利用者のAさんは誰とも交わらず毎日を過ごしていました。他の利用者と一緒に嫌だと、食事時間もずらしてお風呂も一緒に入ることはありません。行事はもちろん朝礼も何もか

も不参加。ほとんどを自室か戸外で過ごしていました。しかし昨年ある職員が担当してから次第に変わってきました。頑なに拒否していた受診もその職員となら行くようになりました。長い間風呂にも入らず洗濯もしないその人に、入浴と洗濯の約束も取り付けました。

その職員はなぜそれができたのか。決してAさんの言うとおりにしていたわけではありません。受診や入浴を拒否するAさんに対して体を張って喧嘩をしたこともあります。恐らく職員が常に伝え続けていたのは「あなたのことを大切に思っています」というメッセージだったと思います。Aさんは寂しかったのでしよう。そんな自分をまるごと受け止めてくれると感じたのだと思います。今ではその職員がいないと探し回るほどです。それをきっかけにAさんは今では朝礼も行事も参加し、ご飯も一緒に食べられるようになりました。その職員は、結果的にAさんが自分でも気がついていなかった叫びに耳を傾けたのだと思います。

「良き耳を持つ」とは決して受け身の言葉ではありません。相手との積極的な関わりの中で相手の本当の気持ちを見いだすことです。言うは易く行うは難しです。この言葉を今年度の目標として選んだ職員を誇りに思うとともに、一年間共に実践していきたいと思いません。

サービスの現場より

『嫌いな物が好きになっちゃった！』

支援課長 島内 寧



誰にでも嫌いな食べ物があると思いますが、人によっては嫌いな物がとても多い方がおられます。Kさんは魚、ケチャップ味、汁物、ケーキ、そしてお握りは食べるけどお茶碗ご飯は食べない。そんな信念を持たれた方です。そこで入所一年間は本人の要望通りに魚メニューの時は目玉焼き、お握り、ケチャップ味の時には、一人だけ別メニューを提供してきました。管理栄養士と厨房スタッフがこんなに美味しく作っているのだから食べてくれたら絶対好きになるのよ。先ずはKさんに信頼してもらおう事を考え一年間は本人の臨むように作り、本人のテーブルの壁にメニューを貼り食べれたメニューの時は本人が◎を書いてもらえるようになりました。

ある日食べられなかった八宝菜を違う物と勘違され食べたのを調理員の方が見逃さず管理栄養士に報告、そこから嫌いなメニュー八宝菜は海鮮炒めに、肉じゃがを肉炒めに、そして見た目を変える一手間のトロミの加減や盛り付けを工夫しました。その後も次々と裏メニューを考案した結果「あー美味しかった」と完食されるようになっていかれました。厨房スタッフ曰く「この人達はちゃんと私の為にやってくれているという事が解られます。信頼を勝ち取ったから出来たんです」との一言。給食スタッフが丁寧に対応した時間がKさんの信頼を醸成しました。私もそのような時間の使い方をしたいと思った瞬間でした。

『私の担当者への取り組み』

支援員 釜元 ユミ



私は、昨年五月に入職し、もうすぐ一年が経とうとしています。支援員として働くことは初めてで職員の方々にも日々迷惑を掛けながらも、支援員として未熟な私を指導していただいております。未熟な私ではありますが、利用者の方々と日々楽しく過ごさせていただいております。利用者の方々はそれぞれ個人の目標があり日々の目標に向かいそれを達成しようと支援員と共に色々取り組んでおられます。支援員の方々は利用者の個別性を熟知しておられ、どの利用者の方の情報を聞いても素早く「この人はどういふ方ですか」というような事が好きなのか嫌いなのか」等の情報を即答してもらえます。感心すると共に感激すら覚えてしまいます。いつの日か自分もそう言う事が出来れば良いなと思っています。

入職してから私は二人の利用者の方を担当させていただいております。二人とも七〇歳に近い年齢ではありますが、まだまだ元気で歩行にもほぼ欠かさず参加されています。しかしながら年齢を考えると、どの様に体調を崩したりされるかわかりません。今後個々の目標も達成出来るよう支援し健康管理も行いながら、少しでも長く元気で過ごし、楽しくまた安心安全な施設生活を送ることが出来るよう支援していきたいと考えています。

『私の担当利用者への取り組み』

支援員 鮑田 華代子



私が担当しているFさんは、温和な性格の方で他の利用者のお世話を優しくして下さいます。この一年、ご本人の楽しく過ごしたいという要望を元に楽しみとなるような趣味を見つけないという目標を立て活動しました。

具体的には、好きなデイズニーの塗り絵を選択し制作して貰います。完成した作品は、二か月に一度居室に飾ることにしました。又毎月皆さんが楽しみにされているオーブンカフェに作品を展示する事で、制作意欲や自信に繋げてもらいたいと考えました。

以前から塗る事が好きと話していたFさん。お手本を見て、職員と色を確認しながら作品を完成させました。オーブンカフェには三回出展し、皆さんに声を掛けてもらうことが次の制作意欲に繋がっていききました。展示の際は自己紹介の言葉と一緒に考え、Fさんに書いて頂き、その文字がとても綺麗で、新たな一面を皆さんに知って頂く良い機会になりました。

そして一番思い出深かったことは、Fさんのご家族へ作品をプレゼントできたことです。十一月にご自宅へ伺い、Fさんが直接お渡しすると「飾ってかんとね」と喜んで頂けました。その後Fさんから「また頑張る」という意欲的な言葉も聞かれ、この経験がFさんの自信にも繋がったように感じました。

今後もFさんが楽しく充実した生活が送れるようにサポート出来ればと考えています。

『保健委員会活動について』

主任看護師 和田 富美



令和元年度の重点目標として①感染症対策及び衛生管理②衛生面の啓発活動③健康・安全管理の三点を中心に取り組んできました。感染症訓練では、食中毒が発症したことを想定し、厨房を閉鎖して実践しました。実際に封鎖されると、お茶ジュレの保管場所やお茶が作れない等、検討しなければならぬ課題が明らかになりました。また同日、新人職員を対象に天草保健所様より借用した『手洗いチェッカー』での正しい手洗い方法の確認と、看護師指導でガウンテクニックを演習しました。利用者様には、インフルエンザやノロウイルスの症状や予防についてそれぞれの施設で話をしました。その他利用者の皆様に、啓発活動の一環として『手洗い』『うがい』のポスター作製をお願いし、完成した作品は朝礼で紹介しました。健康・安全管理では法定検診、各種がん検診をJA厚生連様に来察していただき、法人全体で約一四〇名の検診を行っています。利用者様へは、事前に検診の必要性や方法及び日程の変更等をお伝えしております。「わかつとるばつてん怖かもんな」「病気のわかつとやろ」等、毎年のごとですがドキドキされている様子です。私の方からも「一緒です。ドキドキします」とお声かけすると「みんな一緒ね」と逆に励まされたり、それぞれ納得されているようです。最後に、安全管理に関して『誤薬ゼロを諦めない』の取り組みで、毎月標語を掲示しています。利用者Nさんの標語『私のくすり間違えんでよ』は心に刺さりました。今後とも細心の注意で安全に行っていきます。

『M氏の事例研究・発表に携わって』

支援員 元島 加良子



昨年途中より産休、育休に入った池田支援員からM氏の事例研究を引き継ぎ、天草地区の事例発表を担当させていただきました。これまで作り上げられていたデータを元に、事例発表用の資料の仕上げを行いました。M氏とは九月に同行した松橋での利用者セミナーをきっかけに距離が近くなったと感じます。又この事例に携わる事でM氏との関わりが深くなり、ある意味この関わりが楽しく思えてきた自分がいました。手話も指文字も出来ない私を、M氏は居所を探してまでも懸命に手話を教えてくださいました。前担当が休みにはいつてからは叫ぶ事や壁叩きが増加傾向にありましたが、M氏は自分の得意な手話を私に教える事で、一つの楽しみを感じてくれるのか徐々に壁叩きも減ってきたように思えました。最近ホールで他利用者とはしゃべっている姿を見受けません。その時の微笑みは宝石にも勝る笑顔です。前担当が課題に挙げていた通りM氏には『関わる事』が最高の支援だと感じました。この機会を糧にこれからもM氏が多勢の人とコミュニケーションを取れるような支援が出来たらと思います。今回、二年間の事例研究の集大成に携われた事に感謝します。

『事例研究を通して』

支援員 濱 美穂



私の担当しているKさんは、拘りが強く体重が重い為、体を動かすのも困難で一日の殆どを車椅子で生活されています。そんなKさんに楽しみを見つけ、体を動かす活動を通して、事例研究を通し色々な取り組みを行ってきました。まず、体重減少の取り組みとして、活動中のストレッチに参加する様子を掛けていきました。中々体を動かしてくれず、踵上げや、靴下を履いて貰おうとしても見ましたが意欲が見られず、すぐにやめてしまう事ばかりでした。次に、立位保持は協力動作もありましたが、拒否も多く見られました。腹部マッサージでは、床にラグを敷き横になってもらい実施しました。あまり好きではない様で、すぐに体を起こそうとされ長くは続きませんでした。ズリ這いは、床に降りてもらい、長椅子まで移動してもらいましたが、自分で上体を起こし、途中休憩しながらゆっくり移動されますが、意欲がなければ動こうとされませんでした。次に好きな事として、音楽や動くおもちゃ、パズル、塗り絵、光る棒、吹き戻し棒など、事例会議にて色々な意見を出してもらい取り組んできましたが、何事にも関心を持たれず楽しみを見つけないことが出来ませんでした。十一月二十日より運動する時間を決めて取り組む事により、支援員全員で取り組む事が出来るようになり、運動量が増えました。その結果本人の意識も変わり拒否がなくなりました。大幅な体重減少には至りませんが、本人の動きも軽くなり、負担が減ったように感じます。Kさんの事例研究は終了となりますが、今後も体重減少や楽しみを見つけ楽しく過ごすことが出来る様、支援していきたいと思えます。

『令和元年度合同歩行表彰式』
 今年一年間歩行活動を意欲的に取り組まれた
 利用者の皆さんへの表彰式がありました。
 表彰を受けた方々を紹介します。

各施設総合優勝

茶山寮…内古閑元雄さん (三八周)
 第二…大園 佑大さん (三〇周)
 小嶋 稔宏さん (三〇周)



二〇代～三〇代部門

一位…吉村 裕貴さん (三五周)
 二位…松下 昇さん (二五周)
 三位…音山 一章さん (二三周)

四〇代～五〇代部門

一位…山田 健司さん (二五周)
 福嶋 昭博さん (二五周)
 山本 直尋さん (二五周)
 二位…脇中千賀子さん (二四周)
 三位…小林 美保さん (二二周)

六〇代～七〇代部門

一位…坂口美和子さん (三〇周)
 二位…今井 次男さん (二七周)
 三位…大塚 治代さん (二二周)

八〇代～部門

一位…岡部 亮一さん (一一周)
 二位…伊津野 縫子さん (四週)
 菅原 道正さん (四週)
 三位…稲田キヨ子さん (三週)
 開田キミエさん (三週)



皆様おめでとうございます!!

『亀小駒打ち体験交流会』

支援員 池田 隼人

亀川小学校六一名を楠浦の椎茸実習地に招き駒打ち体験交流会を開催しました。子ども達の元気な挨拶を聞くとこちらも元氣になりました。

さてこれはなんと読むでしょう？①(滑子)次は②(榎木)といった感じで漢字を出題しました。漢字の問題はすぐに答えられてしまいました。もっと難しいのを準備しておけば良かったなと反省。

駒打ち体験では、利用者が原木を子ども達の所に運んだり、駒を打つ穴を教えたりと良い交流ができていました。雨が降った後で、ぬかるんでいる場所もありましたが、怪我もなく最後まで楽しく交流ができたと感じています。



『みんなで楽しんだひな祭り交流会』

支援員 若田 香

三月四日、ひな祭り交流会が行われました。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、その対策のため予定を変更しての実施となりました。毎年来て下さっているボランティアの江藤さん

や、地域の方をご招待する事が出来ず残念でしたが、女性利用者の皆さんは、それぞれお化粧や着物を着ておしゃれされ、普段と違う自分の姿にとっても満足されていたようで私たち職員もその表情を見てうれしい気持ちになりました。

茶山寮利用者の伊津野さんの踊りや、皆さんの思い出の写真を集めたDVDを視聴し、楽しい会となりました。このような職員も利用者の皆さんも一緒に楽しめる行事を今後も考えていきたいと思えます。





令和元年度 生活・作業功労者表彰式

令和最初の一年間を、生活・作業の様々な場面で頑張られた利用者の皆さんを表彰しました。皆さん、施設のためにありがとうございます。

【生活部門】（頑張った内容）

- ・池田 富春さん（掃除機かけ）
- ・小山 智和さん（掃除）
- ・榊田 圭佑さん（タオル片付け）
- ・白石 安洋さん（タオル片付け）
- ・田副 朋也さん（お茶当番）
- ・山元 勝信さん（歯ブラシ準備）
- ・大塚 治代さん（食器片付け）
- ・坂口美和子さん（写真貼り）
- ・中田 育代さん（タオル運び）
- ・前田の婦子さん（チリ紙折り）
- ・山下 久美さん（歯ブラシ準備）
- ・大久保實也さん（カラオケ上手でした）
- ・菅原 道正さん（歩行を頑張った）
- ・古川 秋男さん（カラオケ練習頑張った）
- ・宮崎 敏次さん（笑顔が素敵でした）
- ・植村史津子さん（腹筋運動頑張りました）
- ・久保 涼子さん（歩行を頑張った）
- ・工藤智奈美さん（頑張って痩せました）
- ・白石 明菜さん（笑顔で挨拶ありがとうございます）
- ・山本智夏子さん（広告ゴミ入れを沢山作りしました）



【作業部門】（作業の内容）

- ・内古閑元雄さん（草引き）
- ・小山 兼徳さん（塗り絵）
- ・松本 隆 さん（椎茸作業）
- ・吉村 裕貴さん（椎茸作業）
- ・倉岡江里子さん（千羽鶴）
- ・福島千恵子さん（塗り絵）
- ・大園 佑大さん（漢字が上手でした）
- ・小嶋 稔宏さん（意欲があつたでしょう）
- ・柴田 勝則さん（芋づるむき頑張った）
- ・山口 忠明さん（美味しいカボチャ作りしました）
- ・吉田 実夫さん（陶芸上手でした）
- ・岩崎久美子さん（一人で壁面作りしました）
- ・岡本 美晴さん（ビーズ作品上手に出来た）



生活・作業功労者の皆様



【退所者紹介】

長川清孝さん

三月三〇日で退所されました。当施設では八四歳の最年長で穏やかな方でした。入院前に多くの職員、利用者で囲まれ笑顔で見送られました。一〇年七ヶ月の期間、ふれ合った長さは皆それぞれですが決して忘れることはないでしょう。お疲れ様でした。

【退職職員紹介】

原田愛海さん（荅山寮）

一月三十一日付けで退職されました。短い期間でしたが利用者さんに丁寧な対応を続け、職員にはハッキリと話す姿は皆感心されてました。今後も原田さんの新しい場での活躍をお祈り申し上げます。

村田みす子さん（荅山寮）

三月三十一日付けで退職されます。四七年もの間在籍され、並々ならぬ貢献がありました。どなたにもいつも笑顔で接してくださり、現場が明るくなりました。陽が沈むような気持ちですが笑って見送りたいと思います。今までありがとうございました。

【御礼】

●先月高野病院の訪問診療が終了しました。二十年もの長い間熊本市内から精力的に献身してくださり感謝しかございません。改めて御礼申し上げます。



訪問診療スタッフの方々と撮影をさせていただきました。利用者さんからのメッセージは院内に飾られています。

●西田さんから素敵な手作りコースターを頂きました。オープンカフェなどに使用させていただきます。



※施設でのコロナウイルスへの対応に関して

現在、施設で備蓄しているマスクは2ヶ月分を切つてしまい、消毒剤等も同様の状況で、不安を抱いているのも確かです。

しかし、出来る事からやってみようかありません。

利用者の方は受診・外出時はマスクの着用、帰寮時は手指消毒を都度実施しています。職員は、自宅で検温し、異常なければ出勤、その後再度検温し異常がなければマスクを着用し仕事に従事しています。それ以外に、毎日、手摺り、ドアノブをアルコールで拭き上げ、棟内に持ち込まない事に専念しています。

御家族の方には、面会や外泊の自粛等でご迷惑をおかけしておりますが、未知なるウイルスとの戦いです。何卒ご理解と御協力をお願いいたします。

（県・市より感染症対策として職員用マスクの配布がありました。貴重なマスクをいただきまして、誠にありがとうございます。）

花見会（三月二十七日）

あいにくの雨で施設食堂での開催でしたが、皆でお花見弁当を食べ、カラオケ大会は大いに盛り上がりました。



【御祝い】

荅山寮の山本勇太支援員に第二子、心望（この）ちゃんが生れました。心望ちゃんの健やかな成長を願っております。

〓行事予定〓

（変更あり次第、連絡します）

四月 一日 配置医来寮

二五日 家族会総会・事業説明会（中止）

五月 二七日 東向寺保育園交流会

【広報】施設の自動販売機売上は一部各機関に寄付されています。詳細はホームページに記載されています。



<http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
上記QRコードのスク্যান、URLの入力もしくは「社会福祉法人啓明会」で検索お願いします

〓編集後記〓

気がつけば冬など無かったかのように暖かい日が続いております。花粉・感染症など憂慮する出来事は多いですが、晴れた日は職員も利用者さんも活発に動くことができ楽しんで見えます。こんな時だからこそ明るく、元気に、素直に行動することが肝心かもしれません。ご来訪の皆様にはマスクの着用・消毒など少々窮屈な思いをさせますが、ご了承くださいますようお願いいたします。